

20076

心臓カテ台における物品落下防止の工夫

【目的】当院では心臓カテーテル室において、冠動脈造影検査、右心カテーテル検査、冠動脈形成術（PCI）、アブレーション治療、ペースメーカー・ICD・CRT-Dの植え込みなどを行っており、種々の目的にあった患者テーブルの工夫を行っている。しかし、オペレーターから患者テーブルが狭く、手台との隙間に物品が落下しやすいので改善するよう要望があった。物品を落下しにくくするための既製品はなく、各検査・治療別に対応できるように、補助スペース板を作製することとしたので報告する。【方法】各検査および医師の要望にあった補助スペース板を作製するため、大きさおよび高さを検討し作製した。材料は、ある程度の強度と加工しやすさより木製の板と発砲スチロールを使用した。板を任意の大きさに切断し、そこに発砲スチロールを付けて高さを調節し、汚染防止のため防水シートを巻き付け安価に作製することが出来た。また、透視画像上に影響が少ないことも確認した。【結論】補助スペース板は、通常のルーチンおよびPCIのライブ等で他院の先生方に治療して頂く際も物品の落下を防ぐことが出来き、透視上も問題はなかった。自作補助スペース板を安価で作製し、物品の落下を防止できた。

評価1	評価2	評価3	採否
発表日時 月 日 (第 日)	セッション	会場	時 分～ 時 分

受付番号

演題番号